

紫竹学林会通信

2025年12月18日 No.33

2025年度の第40回「紫竹学林会」の会合を、2026年1月24日（土）に深沢キャンパスにて開催いたします。今回は、本年度で駒澤大学を退職される江口卓先生と土谷敏治先生に最終講義を行なっていただくことになりました。同日には地理学教室主催の「修士論文発表会」も開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

紫竹学林会（総会・最終講義）のご案内

- ・日時：2026年1月24日（土）
- ・会場：駒澤大学 深沢キャンパス 講義室2-1、アカデミーホール

【総会】14:30～15:00、講義室2-1（大学院OB・OG会員、院生）：2025年度会計報告、その他

*今回は、プログラムの都合により、地理学教室主催の修士論文発表会の直後、最終講義の前に、紫竹学林会の総会を開催いたします。修士論文発表会に参加されない会員も講義室2-1にお立ち寄りいただき、総会にご参加ください。

【最終講義】アカデミーホール

15:00～16:10

江口卓先生「気候学とフィールドワーク」

<先生の紹介> 江口卓先生は、2005年4月に駒澤大学に着任され、21年間にわたって地理学科の教育、運営に尽力されました。「気候学」や「外国地誌」「外書講読」などの科目を担当され、3年ゼミではしばしば屋久島で地域調査を実施されました。ブータンでも調査、研究をされ、地理学科の教員や大学院生をブータンに引率してくださったり、学内でブータンの研究者との学術交流会を開催されたりしました。気象予報士を目指す学生のための課外ゼミ「読天」の指導も熱心に行なつていただき、多くの学生を育成されてきました。

16:20～17:30

土谷敏治先生「公共交通と公共交通研究の課題—誤解を解きたい。私は鉄道マニアでも、鉄道オタクでもない」

<先生の紹介> 土谷敏治先生は、1987年4月に駒澤大学に着任され、39年間にわたって地理学科の教育、運営に尽力されました。先生は日本やドイツの鉄道交通を研究されてきました。また、「交通地理学」や「地域統計分析法」「計量地理学実習」などの科目を担当され、多くの学生を育成されてきました。3年ゼミでは路面電車など公共交通が維持されている地方都市で地域調査を実施され、卒業生も多く参加しました。先生のもとで交通地理学を学びたいという熱心な学生が、全国から地理学科に入学してきました。

【懇親会】（両先生を囲む会）18:00～20:00

・会場：駒澤大学深沢キャンパス 洋館大ホール
・会費：一般6,500円、学生3,000円を予定
学部生や卒業生ほかどなたでもご参加いただけます。懇親会への参加希望者は、1週間前までに下記のGoogleフォームから申し込みをしてください。または、紫竹学林会事務局（shichiku@komazawa-u.ac.jp）までメールでご連絡いただいても結構です。事前申し込みのない方は懇親会にご参加いただけない場合があります。あらかじめご了承ください。

懇親会申し込みフォーム

<https://forms.gle/g7U7WTxFPPEXm44L8>



【修士論文発表会】13:00～14:30

紫竹学林会のイベントに先立って、地理学教室主催で修士論文発表会が開催されます。会場は講義室2-1です。この発表会に参加を希望される方は、後日に地理学教室のウェブサイトに掲載される案内をご参照ください。事前の参加申し込みは不要です。